

式 辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。このたび、難関を突破してめでたく大分工業高等専門学校に入学されたのは、本科新1年生161名、マレーシア、イランからの第3学年編入生2名、そして本科を卒業し専攻科に入学された31名の皆さんです。春の香りが満ち溢れる今日の良き日に、皆さんを新たな仲間としてお迎えできますことを私たち教職員一同大変うれしく思っています。また、本日ご列席の保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

ご承知のように、令和2年に日本でも初めて新型コロナウイルス感染症罹患者が報告されて以来、私たちは新たな生活様式・学校様式を余儀なくされました。この3年間は本当に多くの忍耐を必要とした困難な期間であったと思います。5月8日からは新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同じ5類に分類変更され、新たな段階に入ります。すでに、マスクの着用については個人の判断に委ねられていますが、三密回避などの予防措置は講じる必要があります。本日の入学式においても、検討を重ねた結果、入場者数を制限し、式典時間を短縮するとともに、必要な予防措置を講じたうえでの実施となりました。皆様のご理解とご協力に対しまして、心よりお礼申し上げます。

さて、新入生の皆さんがこれから学ぶ大分工業高等専門学校は、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する全国51の国立高専の1校です。皆さんと同じように本科1年生に入学する同級生は約9300名、外国人留学生は約150名、専攻科1年生は約1500名で、大学を含めた国立の高等教育機関としては、国内最大規模の学校です。そして、国立以外にも公立や私立の高専も設置されており、少子化の中で様々な学校の数が増えているにも関わらず、本年4月には、新たに私立の「神山まるごと高専」が徳島県に開校されました。さらに、日本だけに止まらず、タイ、モンゴル、ベトナムなどにも導入されつつあり、高専はKOSENとして国際的な教育制度になってきています。折しも、令和4年度は高専制度創設60周年の節目の年でした。「たゆまぬ挑戦、飛躍の高専！」をキャッチフレーズにして、さらなる挑戦、実践、創造の「力」を活かし、幅広く社会の発展に貢献することを目指しています。もちろん、大分高専もその一翼を担っています。

これまでに大分高専の本科卒業生は7970名、専攻科修了生は470名で、技術者や研究者として企業、大学・高専、自治体などの幅広い分野で活躍し、我が国の産業・経済など社会の発展に多大な貢献を果しています。そして、企業をはじめ社会からの高専卒業生の評価は極めて高く、近年の求人倍率が30倍を超える状況であることに表れています。入学される皆さん全員が、社会から大きく期待されている人財、社会の宝です。学校として皆さん方が社会の宝として成長するように、カリキュラムや様々なプログラムを用意していますので、皆さん方自身もしっかりとした決意で、これからの学修に励んで下さい。そして、本校卒業

生の先輩方が社会に果たしてきた重要な役割を、皆さん方が引き継いでください。

今日から皆さんの学生生活が始まります。私は皆さんに、学生としての本校での過ごし方について、心得ておいていただきたいこととお話します。

まず、学生として自覚をもって取り組むことです。2月21日の本校での合格発表の日、テレビのインタビューで「目標としていた学校に合格できて嬉しい。自分の夢に向かって頑張りたい。」と合格者が話していました。まさに、新たなことに取り組む、素晴らしい心構えです。入学試験に合格するという最初の大きな目標を達成されましたが、入学は、様々な可能性を秘めた未来への新たな出発点です。中学時代の同級生の多くが高等学校に進学し、あと3年間「生徒」として勉強を続けますが、皆さんは今日から「学生」となったのです。3年後に入試はありません。5年一貫教育で、早い段階から高度な専門科目や複雑な実験にも取り組み始めます。皆さん方を指導するのは、深く学問を究めた博士や先端の企業技術者を経験した教授や准教授等の先生方です。高専の卒業生で現在東京工業大学学長である益一哉先生も高い志を持って、様々なことへのチャレンジ精神旺盛なことが高専生の素晴らしい点であると述べています。皆さんも「学生」としての自覚と高い志を持って、自ら主体的に取り組む習慣を身につけて欲しいと思います。

専攻科へ入学の皆さんは、本科で習得した知識、技術を基に、より高度な学修・研究を通じて、専門工学を活用する能力の修得を目指してください。専攻科で全学生が学修する「システムデザイン工学プログラム」は、日本技術者教育認定機構 JABEE が認定する国際的な教育水準を満たしています。また、今年度からスタートした九州大学との連携教育プログラムに進まれる皆さんは、本校及び九州大学の両方の学生となり、本校と九州大学の教授陣から授業や研究指導を受けることとなります。国際研究発表や産学連携研究プロジェクトへの参加など特色ある学修に取り組む、卒業後は、大学院への優先的な進学も用意されています。すべての専攻科入学の皆さんは、一層深化した専門の学問と、複合的視野で課題を追求する力を身につけ、自分で考え行動できるように頑張ってください。

次に心得ておいていただきたいことは、本校建学の精神であり、学習・教育目標の1つである「愛の精神」です。他者を尊重し、理解することが、仕事や生活など全てにおいて重要なことです。高専出身で、日立製作所の社長を務められ、現在、同社の会長である東原敏昭（ひがしはら としあき）氏も、様々なことに取り組むときに、自分事として捉え考える「共感力」の重要性を強調しています。学生生活では、同級生、先輩、教職員等、様々な人との出会いがあります。勉強や研究で出会う人のみならず、クラブ活動やその他の出会いも大切にしてください。本校には多くの体育系クラブと文化系クラブがあります。さらに、高専独特のロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティションなどもあります。仲間とともに、目標に向かって、共に努力することを体験し

て下さい。他者との様々な関りの経験は、皆さん自身をより魅力あるものにして
くれるはずです。

最後に、保護者の皆様にお願いがございます。新入生はこれからの新たな環境
で学力と体力が飛躍的に向上するだけでなく、精神的にも大きく成長します。そ
の過程において、さまざまな悩みを抱えながら成長していく大切な時期です。本
校では、スクールカウンセラーなどの専門職スタッフとの連携も強化しつつ、教
職員一丸となって学生の教育と支援に全力を尽くす所存ですが、ご家庭での見
守りや温かい励ましも不可欠です。保護者の皆様のご支援、ご協力を切にお願い
申し上げます。

結びに当たり、大分高専における皆さんの学生生活が、実り多きものであり、
皆さんの生涯にあって、輝く青春の1ページとなることを、心から祈念して、本
日の式辞といたします。

令和5年4月5日

独立行政法人国立高等専門学校機構

大分工業高等専門学校長 山口利幸